

I. 課題名

子育て世代のための交流スペースのインテリア

II. 設計条件

1. 計画目的
- 都市部において統廃合により廃校となった小学校の一部を改修して、子育て世代のための交流スペースのインテリアを計画する。この交流スペースはパーティスペース及びコワーキングスペース等を主とした施設である。
2. 周辺状況及び建築物の概要 (図-1～3)
- (1) 周辺状況
- 敷地は、都市部の住宅地の一角にある。
- (2) 建築物の概要
- 構造、階数 ――― 鉄筋コンクリート造、3階建て
3. 子育て世代のための交流スペースの概要
- (1) 開館時間は9時から21時までである。
- (2) 建築物の1、2階は保育所や子ども向け図書館を含む地域交流施設、3階は貸し事務所である。
- (3) スタッフは3名である。
4. 設計対象範囲 (図-1～3)
- (1) 設計対象範囲は、1階部分 (床面積は約168m<sup>2</sup>) である。
- (2) 主な出入口は、子育て支援センターの廊下側に設ける。
- (3) 旧音楽室のスペースであり、天井高さが高い空間となっている。
- (4) 車椅子使用者の利用に配慮する。ただし、すべての所要スペースが車椅子使用者の利用できるものとしなくてもよい。
- (5) 所要スペースは、下表のとおりとする。

所要スペース	特 記 事 項
受付スペース	・10m <sup>2</sup> 程度とする。 ・受付コーナーを含む。 ・収納スペース4m <sup>2</sup> を設ける。
パーティスペース	・12名程度 (12名分の席を設ける) で料理教室やパーティが行える。 ・時間貸しのスペースである。 ・昼間は主に子ども向けのイベントを行う。 ・キッチンカウンターを設ける (W3,000mm以上)。 ・キッチンにはシンク、コンロ、レンジフードを設ける。 ・冷蔵庫を設ける (飲み物や食材の持込みができる)。 ・空間を演出するような棚と照明器具を配置する。
コワーキングスペース	・主に子育て世代の親が時間貸しで利用するスペースである。 ・1人用のワークスペースを6名分設ける (机はW1,200mm以上×D600mm以上とし、パーティションで1席ずつ仕切る)。 ・リモート会議ブースを2つ設ける。 ・4名程度で打合せができるスペースを設ける。 ・隣接するスペースからの音の配慮は必ずしもしなくてもよい。
ラウンジ	・30m <sup>2</sup> 程度とする。 ・パーティスペース及びコワーキングスペースから利用できる。 ・10席程度の椅子又はソファを設ける。 ・セルフサービスのドリンクカウンターを設ける。
キッズスペース	・20m <sup>2</sup> 程度とする。 ・受付コーナーから見えるよう計画する。 ・未就学児を対象とし、上足で使用する。 ・未就学児の対応はスタッフが行う。
テラス	・50m <sup>2</sup> 程度とする。 ・12名程度のテーブル、椅子を設ける。
・その他必要と思われるスペース・家具は、適宜設けてもよい。 ・トイレは共用部を使用する。	

- (6) 床、壁等の設計条件は、下表のとおりとする。

部 位	特 記 事 項
床	・仕上材は自由に設定できる。
柱及び梁	・解体・撤去はできない。その位置は、図-2、3に示すとおりである。
壁等	・図-2、3に示す「壁又は開口部を設定する範囲」内の任意の位置に、壁又は開口部を設ける。 ・解体・撤去ができない壁は、図-2、3に示すとおりである。 ・間仕切壁は適宜設けることができる。
天井	・適宜設けることができる。

- (7) 空調・換気設備、給排水衛生設備及び電気設備は、自由に設定できるものとする。

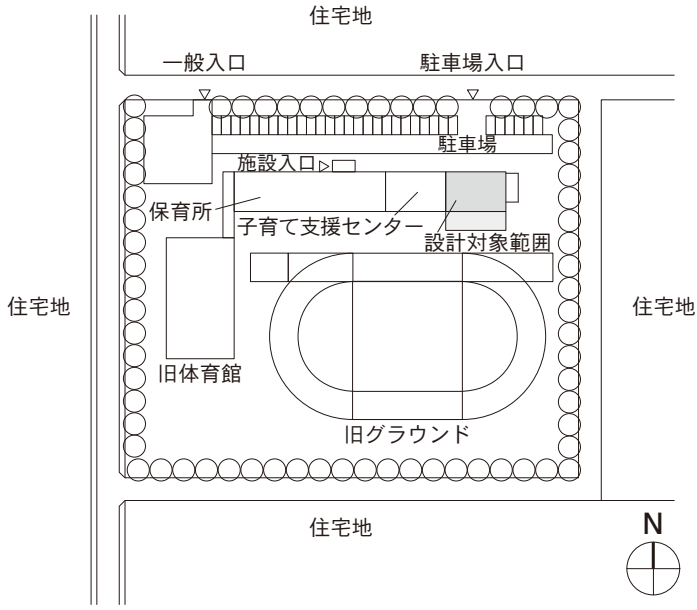


図-1 配置図 縮尺 1/2,000

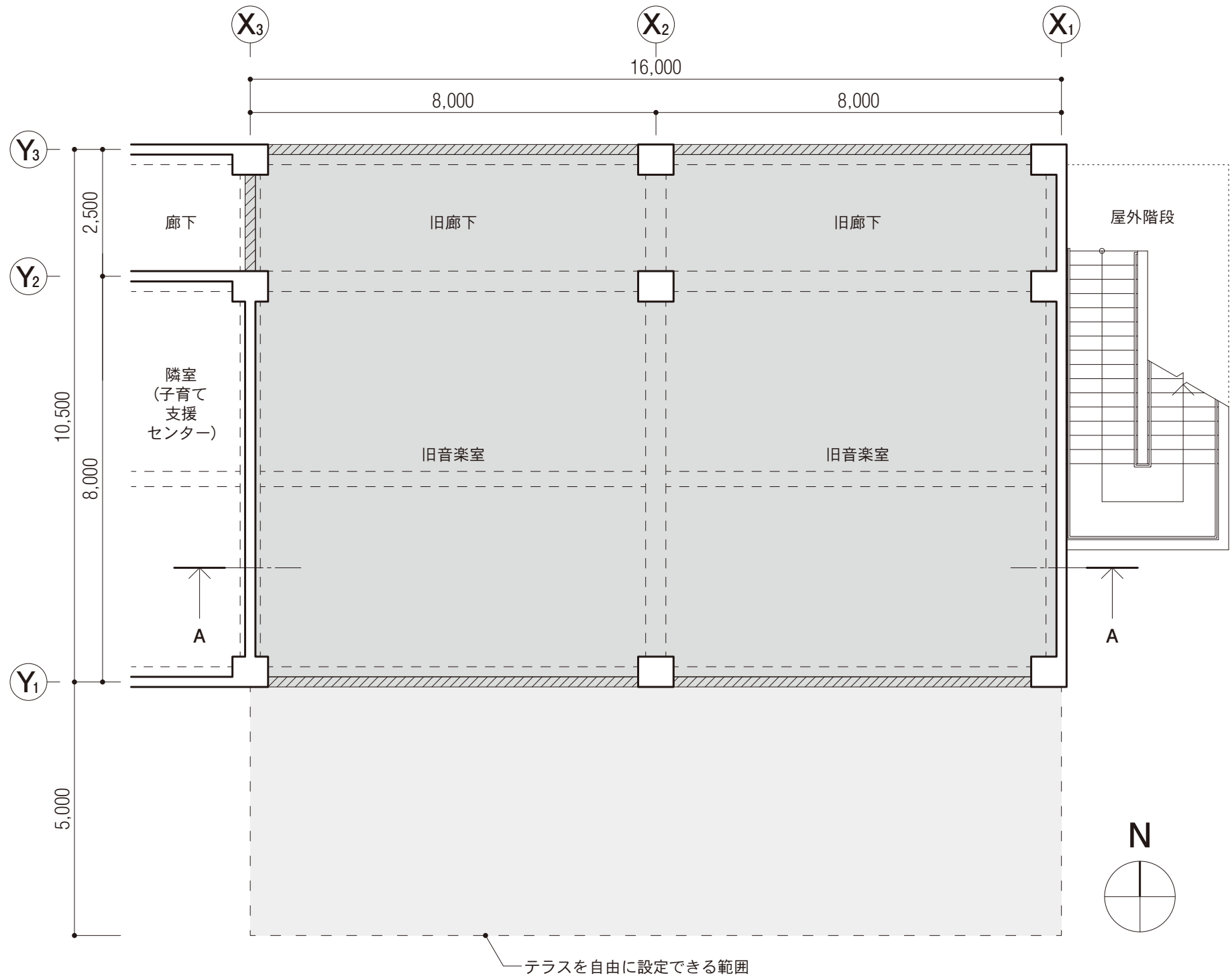


図-2 平面図 縮尺 1/100

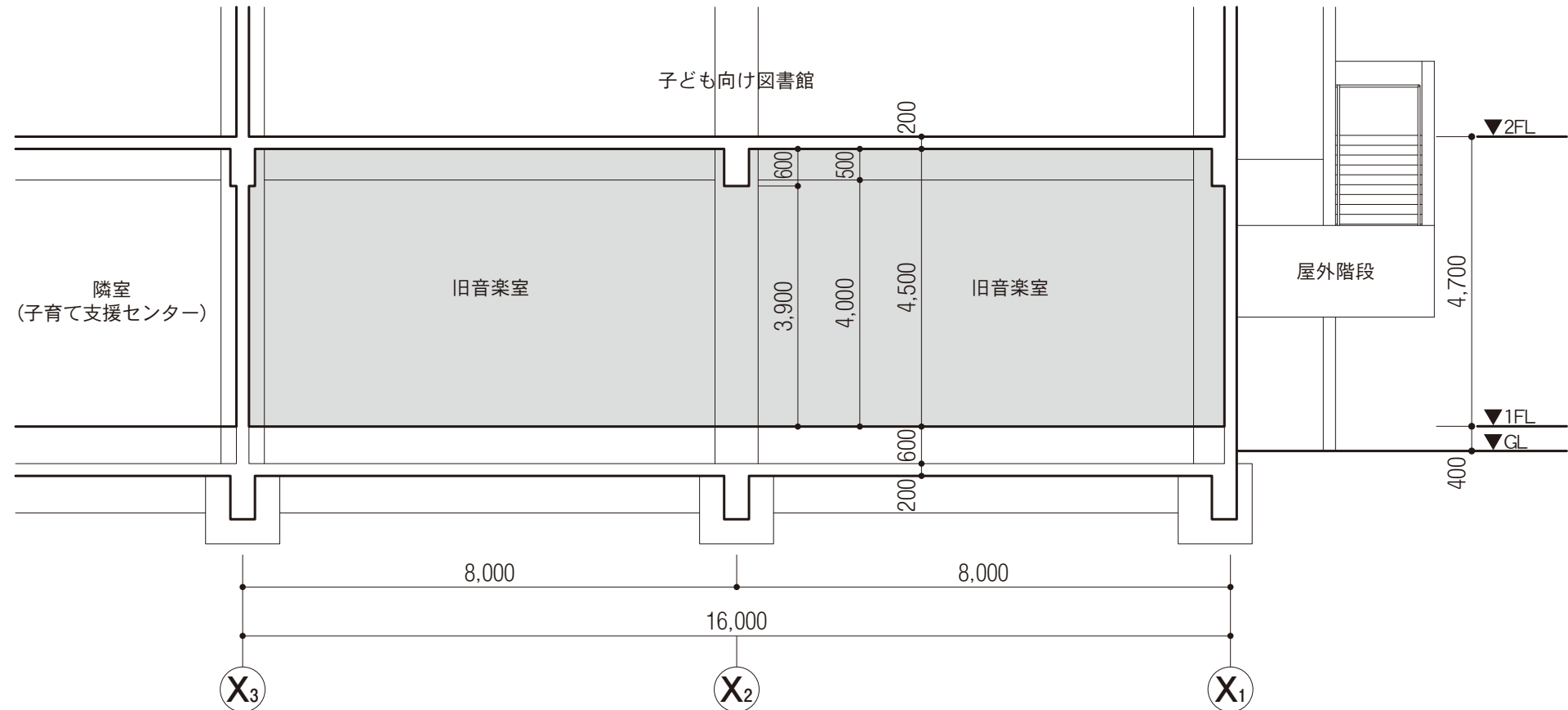


図-3 A-A 断面図 縮尺 1/100

III. 要求図書

- (1) 答案用紙〔1〕、〔2〕の所定の位置に、下表の要求図書を完成させる。

要求図書	特 記 事 項
答案用紙〔1〕	平面図兼家具配置図 (縮尺1/50)
答案用紙〔2〕	設計主旨
答案用紙〔2〕	透視図
答案用紙〔2〕	スケッチ

- (2) 鉛筆、色鉛筆、製図ペン又はマーカーのいずれを用いてもよい。
- (3) 図面は、フリーハンドでもよい。
- (4) 寸法単位は、mmとする。

凡例
設計対象範囲
解体・撤去ができない部分
テラスを自由に設定できる範囲
壁又は開口部を設定する範囲